

「志村小学校・志村第四中学校 小中一貫型学校改築 基本構想・基本計画報告書（案）」
 における説明会及び意見書でのご意見等について

◆説明会の実施状況

開催日	開催場所	参加人数
6/3（金）	北前野小 体育館	大人5人 子ども2人
6/4（土）	緑小 体育館	大人18人 子ども4人
6/8（水）	志村坂下小 体育館	大人13人
6/13（月）	志村小 体育館	大人16人 子ども1人
6/15（水）	志村第四中 体育館	大人29人 子ども2人
6/18（土）	グリーンカレッジホール3F 教室1	大人46人 子ども3人

◆意見書の提出者数 ⇒ 10名

NO	会場	内容	回答
K1	北前野小	新校舎の西側の高さはどのくらいになるのか。	正確な高さは今後の設計にて決まります。高さ規制により30mが最大の高さとなります。地域提言の中で、西側は住宅が多いため、高さをなるべく抑えてほしいとの意見もいただいております。設計では、西側の高さに配慮していきたいと考えています。また、子どもと視線が合うようなことに配慮してほしいという意見もあり、視線などにも配慮しながら設計を進めていく考えです。
K2	北前野小	校庭や広場は土のグラウンドか芝生、人工芝などの想定はあるのか。	校舎配置は敷地の中央になり、北に校庭、南に広場となる屋外活動スペースを設置する予定です。南の広場については、砂ぼこりの対策が必要であると考えています。また、北側の校庭は校舎の影となることから、水はけが悪くなると考えられるため、人工芝という選択もあると考えています。今後、設計の中で、土、芝、人工芝などの仕様を比較検討して決めていく予定です。

NO	会場	内容	回答
K3	北前野小	小学生は休み時間に遊ぶが、中学生も遊ぶのか。小学生と中学生が同じ時間に休み時間になることがあるのか。	中学生も授業の間に休み時間はあり、小学生と同時間帯に休み時間となることもあります。休み時間は、教室の移動時間となるが、中学生でも遊びなどの活動をすることもあります。時間帯が重なった場合は、校庭で遊ぶのは何年生、体育館で遊ぶのは何年生など使用する学年を制限するルールをもうけるなどして対応していくことが必要であると考えています。
M1	緑小	スケジュールを教えてください。	令和6年度から約3年工事し、9年度に開校をめざしています。新型コロナウイルス感染状況の影響や世界情勢によって建設資材の不足なども考えられ、開校時期が変更する可能性もあります。
M2	緑小	今後、小中一貫校の整備を進めていくのか。	区では、小中一貫教育を推進しています。施設一体型学校とするかは、学校改築のタイミングで検討を行っていく考えであり、どの学校でも施設一体化するわけではありません。 現時点で、次の施設一体型の小中一貫型学校の整備計画は決まっていません。施設一体型の小中一貫型学校の整備については、学校の改築等のタイミングにて、小中一貫教育の推進の視点も踏まえて検討していく考えです。
M3	緑小	小中一貫教育の効果があるかわからない状況で整備を進めているのか。	小中一貫教育の効果などについては、平成29年度に報告した小中一貫教育に関する検討会検討報告書に記載されており、一定の考え方や今後の取組について示しています。施設一体型や施設分離型などの整備手法については、学校の改築等のタイミングにて判断していく考えです。
M4	緑小	工事期間中の校庭の代替施設はどこがあるのか。	近隣校である志三中や志五中、小豆沢野球場などの区有施設を考えています。
M5	緑小	工事期間中に校庭が利用できないことでどの部活が活動できなくなるのか。	工事期間中でも、既存の校舎内にある体育館やマルチパーパスの使用は可能なので、他部活と調整の上で活動をしていくことになると考えています。また代替施設などの検討をして、出来る限り、部活動への影響が少ない環境をつくっていく考えです。

NO	会場	内容	回答
M6	緑小	工事期間中の校庭の代替施設までの移動手段はどのように考えているのか。	志三中の場合は、徒歩での移動を考えているが、代替施設や移動手段については、今後、調整や検討を行っていきます。
M7	緑小	新校舎の校庭が使えるのはいつからか。	9年度に新校舎の使用を開始し、新校舎に移動後から既存校舎解体と校庭整備が行われることとなります。既存校舎解体と校庭整備には1年程度かかる予定です。
M8	緑小	志村小以外の小学校から志四中にくる子どもと志村小からくる子どもと差がでるのではないのか。	学びのエリアとして9年間の小中一貫教育を進めている。他の小学校との教育差がでないよう教育活動を展開しています。
M9	緑小	7階建ての校舎では小学生の校内移動、とくにプールへの移動はたいへんだと思うが、エレベーターは設置されるのか。他にも施設一体型のデメリットはあると思うが、どのようなことがあるか。	新校舎では、法令に基づき、エレベーターは設置されます。プールへの移動については、エレベーターを活用していただきたいと考えています。また他のデメリットとしては、昇降口の混雑などもあると考えています。このことについては、小中で分けることなど基本設計で検討していきます。
M10	緑小	令和6年何月からの工事着工となるのか。また令和7年度になることはあるのか。	令和6年度中を予定していますが、設計前の現段階では、何月というところまではまだお伝えできません。令和6年度中を予定していますが、新型コロナウイルス感染状況の影響や世界情勢によって変更となる可能性があります。
M11	緑小	校庭が使えなくなり、部活などの活動に影響がでてくることなどは、工事が着工されてから、生徒に伝えるのか。	設計が進みスケジュールが見えてきた段階でお伝えしていきます。
M12	緑小	工事期間中の屋外活動がどのようになるのかなどについて早急に検討をすすめていただき、工事期間中は、どのような学校生活になるのかを出来るだけはやく保護者、生徒、児童へ周知していただきたい。	早急に検討し、お伝えしていきます。

NO	会場	内容	回答
SS1	志村坂下小	仮設校舎の利用時期を教えてください。	既存校舎を使いながらの新校舎建設となるため、仮設校舎の設置はありません。校庭については工事中に使用できないため、代替施設の検討をしていきます。
SS2	志村坂下小	工事はいつからいつまで行われるのか。	令和6年度から約3年工事し、9年度の開校をめざしています。設計前の現段階では、何月というところまではまだお伝えできません。また新型コロナウイルス感染状況の影響や世界情勢によって建設資材の不足なども考えられ、開校時期が変更する可能性もあります。
SS3	志村坂下小	新しい校庭や広場、志村小跡地につくる第二グラウンドなどの学校施設は、今まで通り、近隣の保育園や地域のクラブ活動で借りることができるのか。	小中一体となるので学校の使用頻度が高くなることもあり、現在と同頻度での利用ができなくなる可能性はありと考えています。空き時間にお貸しすることは今後も可能と考えています。
SS4	志村坂下小	志村小跡地に計画しているクラブハウスはどのようなものなのか。	主に体育の授業や部活動にて第二グラウンドを使用する際に必要となる更衣室、トイレ、水場などの機能を設ける予定であります。また防災倉庫などの設置も考えています。
SS5	志村坂上小	今度の小中一貫型学校は、洪水時の避難所になるのか。	今度の小中一貫型学校も志四中から引き続き、避難所に指定されると危機管理部から聞いています。荒川氾濫の際の洪水時には、浸水深さが3~5mとなるので、避難場所としての機能が損なわれないよう、避難場所を2階以上に設置するなどの対策は考えていきます。
SS6	志村坂上小	避難所と学校の機能を明確に分けると記載されているが、どのように分けるのか。	学校運営と避難所運営が両立できるよう、機能ごとに配置をまとめることやセキュリティの区画を分けることを考えています。今後設計を進めていく中で、危機管理部や学校と意見交換しながら検討し、良い学校機能、避難所機能となるように進めていきます。
SS7	志村坂上小	志村小学校の現校舎がなくなることで、地域の避難所が1か所減ってしまうが、避難計画上、問題はないのか。避難時の学校運営や避難所運営まで検討した避難計画を設計前に定めた方が	避難所が1か所なくなることは、区の危機管理部とも情報共有できています。今度の小中一貫型学校での防災備蓄倉庫については、現在の志四中の防災備蓄倉庫よりも大きくすることになります。志村小学校での想定されている避難者全てが今度の小中一貫型学校に移る考えにはならないこと

NO	会場	内容	回答
		よいのではないか。	を、危機管理部からは聞いていますが、今後、危機管理部と意見交換しながら、避難計画などのソフト面と防災備蓄倉庫などのハード面との整合性がとれるよう整備を進めていきます。
SS8	志村坂下小	文科省は、部活動運営を地域へ移行していく方針を示しているが、そのことをクラブハウスなどの部活動に関連した室や空間の設計に考慮していくのか。	まずは土日の部活動の指導員を地域の方へ移行することをこれから3～4年かけて進めていくことになると思いますが、まだどのような運営になっていくかもわからない現状では、部活動運営の地域移行を踏まえた設計は難しいと考えます。運営の地域移行によって、学校のつくりを変える対応は不要と考えますが、セキュリティに関しては見直しが必要だと考えています。今回の新校舎では、地域開放や地域連携に使用する部屋や将来的に可能性がある部屋については、配置やゾーニングなどに配慮し、設計を進めていきます。
SS9	志村坂下小	小中一貫型になると9年間と長いので、一度いじめがおこると、環境がかわらないことが心配です。いじめ対策についてはどのように考えているのか。	建物施設としてできるいじめ対策として、死角をつくらないこと、落ち着けるスペースをつくることなどを考えています。ソフト面については、今まで通り、学校と協力しながら対策に取り組む考えであります。
SS10	志村坂下小	1年生から9年生までが一つの校舎で生活するには、安全面での不安が大きいと思う。また7階建校舎の移動は1年生にとっては体力的にも厳しいと思う。不安な要素がこんなにあるのにどうして施設一体型の小中一貫型学校を整備していくことになったのか。	志村小学校の改築検討をしていく中で、現地での改築は、工事期間が長くなることわかりました。また志村第四中学校についても老朽化が進んでいることや、小中一貫教育推進の視点を取り入れた結果、施設一体型の小中一貫型学校を整備していくこととなりました。 ご不安に思われている点については、低層階に小学校、高層階に中学校とわけたゾーニングを考えているため、通常の小学校と比べて縦方向の移動距離が大きくなることはないと考えています。また屋内外の運動できる場所については、複数か所設けることや学年別を使用時間を分けるなど、運用によっての対応も考えています。プールへの移動は、エレベーターの利用も含め、今後設計していく中で学校の意見も伺いながら、対応策を考えていきます。安全な学校生活を送ることができる施設となるようハード

NO	会場	内容	回答
			とソフトの両面から検討をしていきます。
SS11	志村坂下小	今後、板橋区では小中一貫型学校の整備を進めていくのか。	小中一貫型学校の整備については、学校の改築等のタイミングにて、小中一貫教育の推進の視点も踏まえて検討していくという方針を持っています。小中一貫化していく場合、施設一体型とするか、施設分離型とするかも、検討の中で決まっていくこととなります。
SS12	志村坂下小	一貫校としてスタートするのは、校舎が完成してからか。それとも何年度からスタートと決まっているのか、その場合、新校舎が完成していなければ、校舎が別々のまま一貫校としてスタートするのか。	今回は施設一体型の小中一貫校のため、校舎完成後に小中一貫校としてスタートします。
SS13	志村坂下小	高校、大学への進学を考えた場合に、小中一貫校より中高一貫校のほうがよいのではないかと。	進学など生徒の目標や夢の実現に導く取組を行っていくのは、小中一貫校でも中高一貫校でもどの学校も同じです。しかし、中高一貫だと受験もなく安心して大学受験に向けて学習が続けられます。小中一貫だと小中での連携により、中1ギャップなどを防ぐことができるなどの利点の違いはあると考えます。小中一貫型学校にて、どんな取組をするか、どういう教育をするかは、これからの課題だと思っています。その仕掛けを作っていくことが重責だと考えています。
SS14	志村坂下小	校舎を建て替える際に小中一貫型学校の整備を検討していく方針とのことだが、板橋区の小学校は51校、中学校は22校ある。小学校に合わせて中学校を増やすのか。また小中一貫型学校と通常の単独校とで教育に差がでるのではないかと。	今後、すべての学校を施設一体型の小中一貫校にするわけではないので、小学校に合わせて中学校を増やすということはありません。他の学校との格差がないように、今後、各学校と協力して検討していきます。
S1	志村小	建設費の予算はいくらか。ここ最近の建設費の高騰を考慮しているのか。	建設費は設計が完了してから決まってきます。区内で初の施設一体型の小中一貫校であるため、前例から推測した参考レベルの建設費も答えられま

NO	会場	内容	回答
		志村小単独で改築する場合の予算を知りたい。単独改築の方が安いのであれば、単独改築にして、その差額を各学校にて教育環境を充実させるための人件費などに回したらどうか。	<p>せん。</p> <p>志村小単独で改築する場合の予算は、近年区内で建設した学校を参考にお伝えすると、板橋第十小学校で約 40 億強、上板橋第二中学校は約 50 億強です。</p> <p>施設一体型の場合、2 校にて共有になる部分が増えるので、建設費は抑えられるという考えもありますが、社会情勢の変化による物価上昇などもあるため、共有部分が増えるから建設費は抑えられるとも一概には言えません。ただ最小経費で最大の効果がある施設づくりをする考えです。</p>
S2	志村小	7 階建校舎の屋上にプールという計画は小学校 1 年生にとっては移動が大変ではないか。また、中学生が毎日 7 階まで階段で行くのも大変ではないか。エスカレーターの設置はあるのか。	<p>プールへの移動は、エレベーターの利用も含め、今後設計していく中で学校の意見も伺いながら、対応策を考えていきます。</p> <p>中学生のためのエスカレーターの設置は区内で事例がない。今回の計画でも現状考えていません。階段での移動を想定しています。</p>
S3	志村小	3~5m の場所を避難所とするのは安全上問題ないのか。具体的な対策があるのか。浸水後に区民が避難所にアクセスできるのか。	<p>現在も志村四中は荒川氾濫時の避難所に指定されており、小中一貫校の新校舎に建替え後も引き続き避難所とします。建替えにより、避難所となる体育館を 2 階以上とし、安全性を高める予定です。</p> <p>区ではあらかじめ避難所を設定しており、その場所へ行く方針です。より大きな災害が予想される場合には、避難所から別の場所に移ることも状況によっては想定しています。</p>
S4	志村小	区内小中学校の小中一貫型学校の整備は何年計画なのか。現在区内の小学校は 51 校、中学校は 22 校あるが、今後、小学校をつぶして中学校に含わせて小中一貫型学校の整備を進めていくのか。	<p>区では、計画期間が 20 年となる魅力ある学校づくりプランを策定しており、現在は前半の 10 年間の期間にあたります。今回の計画もこのプランに沿ったものです。今後の小中一貫型学校の整備を行う学校については、まだ決まっていません。魅力ある学校づくりプランでの整備対象校について手法を検討していく中で、次の施設一体型の小中一貫型学校として整備する学校が決まってくると考えます。また今後、すべての学校を施設一体型の小中一貫校にするわけではないので、小学校の数を中学校にあわせた</p>

NO	会場	内容	回答
			整備を進めるということはありません。
S5	志村小	志村四中の整備手法が施設一体型の小中一貫型学校となったのは、魅力ある学校づくりプランで、志村四中が整備対象校となっているからということか。	魅力ある学校プランでは、志村小学校が改築の対象となっています。志村小学校の整備手法について検討した結果、志村第四中学校との施設一体型の小中一貫型学校を整備していくこととなりました。
S6	志村小	エレベーターを普通の教室移動にて使用するのは不便なのではないか。	低層階に小学生、高層階に中学生の教室を配置する考えでいます。小学生の教室移動について、プール以外は低層階内で行えるゾーニングとし、一般的な小学校の3階建て校舎と変わらないような形となるように検討していきます。
S7	志村小	小中一貫校することについて、利用者へ周知されていないのではないか。利用者が望んでいることなのか。	小中一貫型学校については、検討会ニュースや改築だよりなどを配布し、周知を図っています。今回の説明会で初めて内容を知った方もいらっしゃったため、より多くの方に周知できる方法を検討し、多くの方に周知されるよう努めていきます。
S8	志村小	志村小は、高台にあり、避難所としても立地が良い場所なのに、なぜ志村小ではなく志村四中の場所に統合するのか。	志村小学校の現地改築を検討しましたが、擁壁があること、工事期間が6年間に及び児童への影響が大きいことなどにより、志村小敷地での改築は困難であるという結論に至りました。その結果、志村四中の敷地で、志村小、志村四中の小中一貫校の設置することになりました。
S9	志村小	小中一貫教育は、施設一体型の小中一貫校でないと、できないものなのか。	小中一貫教育は既に全学校で実施しているため、施設一体型でないとできないものではありません。ただし、施設一体型の場合、小中の授業連携がとりやすい、教員同士の連携がとりやすいメリットがあります。他の小学校でも、今まで以上に連携をとり、志村小だけが連携の恩恵を受けて、他の小学校が連携の恩恵を受けられないということがないように、今後取り組む必要があると考えています。
S10	志村小	小中一貫校の計画が児童、生徒、保護者、地域住民に周知されたあと、反対意見が多い場合、この計画が白紙になることはあるのか。	小中一貫校設置の計画は地域住民や学校関係者、保護者を含めた協議会からの意見をいただいて進めています。新しい学びに対応できる学校環境を整えることが必要と考えているため、計画の見直しは考えていません。

NO	会場	内容	回答
S11	志村小	施設一体型とすることでどんな効果があるのか。	他自治体の小中一貫教育の結果として、小学生にとって中学生が身近な存在となり中学生に憧れを抱いたり、中学生が小学生に対する優しい心を持つようになったりと、情緒面でのプラスの効果が確認されています。利用する児童、生徒、地域住民にとっても、素晴らしい教育環境になるような学校をつくっていきたいと考えています。
S12	志村小	なぜ志村小の敷地ではなく、志村四中の敷地に校舎をつくるのか。	志村小の敷地は、接道が 1 か所のみで工事中の児童の安全を確保することが難しいです。また前面道路の幅員が狭く大型車両の通行ができていません。敷地内での工事の場合、既存校舎の一部を利用しながら段階整備となるため工事上の課題が多いです。現地で仮設校舎を建てて改築する場合、工期が非常に長くなり、校庭や体育館が使えない期間も長くなります。これらの点を踏まえ、現地での建替えは困難という結論になりました。他の場所に仮設校舎を建てて現地改築する方法も検討したが、敷地が見つからず断念しました。 そのため、志村四中の敷地に志村小と志村四中の小中一貫型学校を設置することとなりました。
S13	志村小	志村四中に入学する志村小以外からの小学生は、施設一体型となる志村小と学習に差が出るのではないかと。差を埋める対策を考えているのか。	板橋区では、すべての学校で学びのエリアという小中一貫教育を実施しており、授業内容に差はない。ただし、中学校の先生の授業を児童が受ける、部活動交流など、小中の取組については、施設一体型の方が、移動がないため他の小学校と比べて日常的になることがあると考えられました。そのため、他の小学校についても学びのエリアの中で小中の取組をしっかりと進めていく考えであります。
S14	志村小	志村小学校の建物強度に関する調査結果の概要を教えてください。	躯体の一部に弱いところがありました。今すぐ倒壊する恐れはないが、今後の長期的な使用には向かなく、改築することが望ましいという調査結果でした。
S15	志村小	志村小の児童が志村四中の場所へ通う通学路は、熊野神社の坂道となると思う。事故多発の	通学路については、今後の検討会で検討する予定です。児童、生徒の安全を確保するように考えていきます。熊野神社の坂道は、現在も志村小の通

NO	会場	内容	回答
		看板がところであり、そのようなところを通学路とするのは危険ではないか。	学路となっており、十分に安全に配慮されて設定しています。今後も安全な通学路としていく予定です。
S16	志村小	今回の計画では、児童・生徒 1 人当たりの校地面積が狭くなると思うが、過密になるのではないか。	1 人当たりの校地面積は、志村四中の敷地に小中一貫型学校を設置するため、狭くなります。しかし、建物の延べ床面積については、現在の志村小、志村四中の合計の延べ床面積よりも大きくなるので、1 人当たりの延べ床面積は大きくなる計画です。
S17	志村小	エレベーターは何台設置するのか。	現時点で台数は決まっていますが、複数機設置も考えています。今後の設計で検討し、台数やかごの大きさを決定します。
S18	志村小	小中一貫型学校の設置について、理解が十分でない、周知されていないと感じている。志村小と志村四中の校長先生の認識を知りたい。学校の保護者への周知は十分だと考えているのか。	<p>今年度の 4 月から着任しましたが、設置についてはすでに理解されているものと認識しています。しかし、本日の説明会の状況から理解は十分ではないのかなと感じました。</p> <p>小中一貫型学校をつくることに関しては、認知されていない部分があると思っています。身の回りに小中一貫校がなく、どのようなものができるか実感できない部分があることが、原因の一つとしてあると思います。私は前任校が義務教育学校であり、設計段階から携わっています。その経験を活かし、どのようなものであるかを伝えていきたいと考えています。ただ、校舎がどのようなものになるかが見えない現段階では、実際にこういうふうに良くなるという具体的な話ができないので、理解いただくのが難しい状況であると考えています。</p>
S19	志村小	小中一貫型学校になった場合の具体的な効果を聞きたい。	<p>実際に小中一貫型学校ができた後の運用については、まだ話し合いがされていません。私が重要だと思うのは、どのように運用していくのか。小中一体型の良さを出していくことが重要であると考えています。</p> <p>施設一体型になると、移動がなくなるため教員間の打合せがしやすくなる、9 年間の学びをより一体化したカリキュラムにして学力向上を図ることができる、小学校から中学校への学び方の変化に対応できない子の不登</p>

NO	会場	内容	回答
			<p>校を解消する、などのメリットがあると考えています。</p> <p>平成 29 年度に国が行った小中一貫型教育の調査で、効果として、生徒、児童の思いやりや助け合いの気持ちが育まれた、上級生が下級生の手本となろうとする意識が高まった、下級生が上級生への憧れを持つようになった、中学校への進学に不安を覚える児童が減少した、中1ギャップが解消された、という項目に対して 9 割以上の市区町村から回答がありました。他自治体の事例より、小中一貫校の効果が見られています。</p>
S20	志村小	志村小は 9 年間一貫のメリットがあると思うが、他の小学校から来る子どもたちへの配慮はあるのか。	志村小以外の小学校への配慮について、小学校同士の交流を今まで以上に行うなどを検討しています。
S21	志村小	給食室、音楽室は小中で分けて 2 つにしているが、職員室は 1 つで良いのか。教員の意見を聞いているのか。	施設一体型の小中一貫型学校の施設整備方針を立てており、その中で校長先生や学校の先生方に小中連携のメリットをより活かすために職員室は 1 つにする考え方を提示した上で、それに対する意見は聞いています。
S22	志村小	子どもへのアンケートやヒアリングの対象は全員でないのはなぜか。	<p>アンケートは全生徒、児童・保護者を対象として実施しており、回答率は 30% 程度でした。</p> <p>ヒアリングについては、どのような形で実施できるかを学校と協議した結果、志村小では、5 年生全員、志四中では、8 年生の代表者という形で実施しました。</p>
S23	志村小	志村小の現地改築は本当に 6 年もかかるのか。志村小の改築の必要性をしっかり説明してほしい。説明できないなら今回の計画は白紙に戻すべきだ。	※回答不要とのため、回答無し。
S24	志村小	施設一体型が良いのであれば、もっと良さを説明していただき、何年後までには、何校整備するなど、区として今後さらに整備していく方針を出してほしい。	※回答不要とのため、回答無し。

NO	会場	内容	回答
S25	志村小	利用者目線で計画しているのか。	設置検討会には、学校関係者、校長先生にも入り、色々な目線で慎重に検討を進めた上で、今の計画となっています。利用者目線なしで計画しているわけではありません。もっと多くの意見を聞けるよう、説明会を実施しています。引き続き、不安解消や負担軽減できるように、進捗状況の周知やご意見を伺う機会を設けていきたいと考えています。計画は段階的に進めているため、引き続き進めていきます。説明会でいただいた意見を踏まえ、不安を解消し、安心して通える学校をつくっていく考えであります。
S26	志村小	基本計画策定後に再度説明会を実施するのか。	説明会でいただいた意見については、修正すべき点は修正し、スケジュール通り 7 月に基本構想・基本計画を策定します。その後の基本設計段階で、計画内容をお伝えすることを考えています。現時点では、説明会を必ず実施するという事は言えないが、皆様に説明する機会や周知する機会は設けていきたいと考えています。
S27	志村小	7 階建ての校舎を実際に見て勉強しているのか。	高円寺学園などの校舎を見学し、校長先生へのヒアリングを行い、メリット、デメリットを勉強した上で、今回の計画を進めています。
S28	志村小	今回の小中一貫型学校の計画は誰のための計画なのか。	将来の児童、生徒のための計画です。板橋区として、責任をもって子どもの教育環境を整備していく必要があるため、今回の計画を推進していきます。
S29	志村小	何をもって合意形成とするのか。	志村小・志村四中の検討会を設置しており、PTA、地域関係者、学校関係者の代表が参加しています。こちらで様々な視点から検討し、誰にとっても素晴らしい計画となるように考えています。合意形成については、検討会で区民の代表により図っており、また、板橋区教育委員会で決定し、計画を進めています。
S30	志村小	計画の決定権は誰が持っているのか。	学校の設置者としては、板橋区立学校の設置条例に基づき、板橋区の責任で設置をします。所管については、板橋区教育委員会です。
S31	志村小	教育委員会が皆さんの意見を聞いて合意が取れたから進めるということか。	合意形成のプロセスを踏んで決定し進めていきたいと考えています。

NO	会場	内容	回答
S32	志村小	地域に開かれた機能があることや、保護者会などでの利用も想定されるので、駐輪場の設置をしてほしい。	駐輪場は設置していく予定です。規模については、今後の設計の中で検討し、決定していきます。
S33	志村小	施設設計の条件について基本計画でもっと具体的な記載をした方が良いのではないかと。	基本計画の段階で、具体的な案を提示すると、ワークショップ等で案が出ていくようになる可能性も考慮して、抽象的な表現になっています。今後の設計で具体的な案を作成します。
S34	志村小	利用者である児童、生徒、保護者の過半数が反対した場合でも白紙撤回しないというのは、区の見解か。	現時点で、過半数の意見をとることは考えていません。今後も今の合意形成プロセスの中で、検討会委員の意見を聞き、説明会の場も設け、進めていくことを考えています。 本計画は板橋区議会にも報告をしており、これまでの検討結果を報告し、議員の方の意見を賜っています。 引き続き、様々な方の意見を聞きながら計画を進めていきたいと考えています。 ご理解をいただけるように、今後も説明を実施していく考えであります。
SC1	志村四中	今回の計画で義務教育学校になるのか、志村小と志村四中は別々の学校として残るのか。	志村小と志村四中として残ります。施設一体型の小中一貫型学校となり、義務教育学校になるわけではありません。
SC2	志村四中	一体化するのであれば、小中一貫より中高一貫の方がよいのではないかと。小中一貫を都内でやっているところがあるのか。	中高一貫、小中一貫のどちらも存在し、絶対的にどちらがよいということはないと考えます。また杉並区など都内の他自治体で小中一貫を実施しているところがあります。
SC3	志村四中	志村四中のプール裏に住んでいるが、プールからの騒音がうるさい。新校舎の配置が現状の校舎より南側によるので、より騒音が大きくなるのではないかと心配している。校舎の配置を再検討してほしい。	校舎配置は設置検討会委員の意見や、学識経験者の意見を踏まえ、教育委員会事務局が3案の中から決定しています。配置は今の計画で進めていきます。今後、騒音の対応策を検討していきます。

NO	会場	内容	回答
SC4	志村四中	具体的な騒音対策は、いつ決定するのか。	基本構想・基本計画が7月に策定し、その後基本設計が始まります。詳細な検討は、設計にて行い、決定します。
SC5	志村四中	配置案について、中央配置案に反対する。北側校舎案が良い。	意見として受け止めますが、校舎配置は今の案で進めます。
SC6	志村四中	志村小での説明会も参加したが、志村小の保護者からの志村小の移転について反対意見があった。志村小の保護者の支持を得られている認識なのか。	志村小の児童・保護者には、小中一貫型学校の設置計画のアンケートを実施しています。保護者全員からの支持があるわけではないことは、認識はしています。今後、保護者や地域の方、多くの方に支持される学校となるような計画としていきたいと考えています。
SC7	志村四中	保護者の意見を聞いて計画を見直す考えはあるのか。	地域、PTA、学校関係者を含めた検討会で議論を重ねた結果の計画のため、計画を見直すことはありません。
SC8	志村四中	実施した保護者へのアンケート内容に問題があるのではないかと。小中一貫校をご存じですか？小中一貫校ができたなら通いたいですか？という内容だったと聞いている。志村小を残す、他の場所に仮設校舎をつくるなど整備手法に関する内容のアンケートにて保護者の意見をもっと聞くべきではないか。	志村小の現地改築は工事が6年かかり、校庭と体育館がない期間が3年11カ月となるため、教育環境への影響が大きく、また代替え地にて仮設校舎を建てることも検討しましたが、代替え地が見つからず、現地改築は困難と判断しました。そのため、アンケートについては、志村小を現地改築するかどうかという内容ではなく、小中一貫型学校についての意見をとることとしました。
SC9	志村四中	はじめから施設一体型の小中一貫型学校をつくる前提での保護者へのアンケートになっていると思う。再度、保護者、子どもたちの意見を聞くべきだと思う。保護者、子どもの意見をしっかり踏まえて、区の教育の施策を考えていくべきである。	※前の質問の回答を受けての意見のため、回答無し。
SC10	志村四中	建物配置について、騒音、振動、砂ぼこり、反射光など1つ1つ近隣住民への影響を比較評価	※意見のため、回答無し。

NO	会場	内容	回答
		して検討してほしい。近隣住民への周知が十分でなく、近隣住民を無視して勝手に計画を進めている印象を持つ。地域のためを考えて丁寧に計画を進めてほしい。	
SC11	志村四中	配置に関して近隣住民へのアンケートをすべきだ。今の配置には反対である。北側の校舎を望む。仮設校舎の問題で今の配置案になっているが、仮設校舎は一時的な問題であり、近隣住民にとって新校舎の配置は何十年と関わる問題である。	校舎の配置は、地域の代表である設置検討会委員からも意見をいただき、工事期間中のことだけではなく、新校舎完成後の学校運営のことを含めて考えて決定しました。決定した校舎中央配置案は、北側に校庭、南側に広場が確保でき、小学生の活動と中学校の部活が円滑にできるというメリットがあります。
SC12	志村四中	近隣への日影、騒音について考慮しているといったが、具体的に検討しているのか。	日影については、法令遵守できている配置案から検討をしています。今後、視線やできるだけ日影の影響が大きくなるよう配慮し、設計を進めていく考えです。
SC13	志村四中	近隣住民へもっと丁寧な説明をしてほしい。	近隣住民の方への説明をもっと丁寧にしていきたいと心掛けていきます。
SC14	志村四中	配置計画はこのまま進めるのか。	計画はこのまま進め、近隣住民の方にご理解いただけるように、丁寧な説明をしていきます。
SC15	志村四中	配置案を考え直してほしい。	配置案はこの計画で進めます。
SC16	志村四中	なぜ志村小と志村四中の小中一貫型学校として整備するのか。	志村小の校舎が築55年と改築が必要な状況であり、現地改築や他敷地での仮設校舎の建設の手法を検討したが困難であるという結果でした。区で実施している学びのエリアの視点を取り入れ、志村小と志四中での施設一体型の小中一貫型学校を改築する結論となりました。
SC17	志村四中	検討会のメンバーは区の意見に賛成の人しか含めてないのではないのか。	設置検討会委員は学校の保護者、PTAなどの学校関係者や様々な立場の方で構成しています。
SC18	志村四中	他の区で小中一貫校を実施して数年でやめた学校や、小中一貫校の生活指導などで苦労している話を聞いた。小中一貫校はやめるべきだ。	※意見のため、回答無し。

NO	会場	内容	回答
SC19	志村四中	子どもたちの環境は土、地面に近い方が良いと考えている。7階建ての校舎では子供たちにとって良くない環境になると思う。	子どもにとってよい環境となるように計画を進めていきます。
SC20	志村四中	体格差がある小学生と中学生を同じ校舎にして階段など使いにくいことはないか。	ユニバーサルデザインの考えも踏まえて、だれにとっても使いやすい校舎とする計画としていきます。階段については、小学校と中学校の段差の差は数ミリのため、大きく変わるわけではありません。
SC21	志村四中	小中の授業時間が異なることで、チャイムはどう対応するのか。	ノーチャイムや、チャイムの時間を合わせるなど運用面にて対応している事例があります。今後どのような運用としていくかを検討していきます。
SC22	志村四中	エレベーターは小学生が使えるのか。	エレベーターは設置する計画ですが、具体的な運用については、今後学校の意見も聞きながら、検討します。
SC23	志村四中	説明会は、意見、要望に対して区職員が舌でいいくるめるべき場ではない。意見、要望を区に持ち帰り、じっくりと検討するべきだ。数回の説明会で決定するものではない何年も時間をかけて検討すべきものだ。	※意見のため、回答無し。
SC24	志村四中	工事中はグラウンドが使えないということか。その間、どこで運動するのか。	現在のグラウンドに新校舎を建設するため、工事中はグラウンドが使えません。運動については、体育館とマルチパーパスで体育の授業を行うこととなります。また部活動や運動会など屋外での活動については、活動場所を近隣校などに借りるなどの対応策を考えています。
SC25	志村四中	保護者へのアンケートは具体的なプランを見せて実施してほしかった。	※意見のため、回答無し。
SC26	志村四中	具体的な工事期間はいつですか。	令和6年度から令和9年度の3年間を予定しています。具体的な何月かまでは現段階では決定していません。
SC27	志村四中	狭い敷地に志村小と志村四中を統合するため、7階建ての校舎になる。都内でも事例がないの	地下1階、地上6階建ての校舎で運営している杉並学園を視察し、校長先生へのヒアリングを行いました。良いところ、悪いところを聞いた上

NO	会場	内容	回答
		では。	で、今回の計画を進めています。
SC28	志村四中	毎日7階まで階段で上るのは大変なのではないか。エレベーターは使えるのか。	中学生のホームベースは、6階までに配置し、また低層階に小学校、高層階に中学校とわけたゾーニングをすることで、縦方向の移動距離が長くないように設計していく考えです。エレベーターの運用については、今後学校と検討します。
SC29	志村四中	志村小の現地改築は本当にできないのか。	志村小の現地改築が困難である最も大きな理由は、工事が6年かかるという点です。その原因は、4点あり、擁壁の作り替えが必要であること、既存校舎を一部使いながらの段階整備になること、接道が1か所のみで児童の安全確保のため工事車両の寸法制限がかかること、周辺道路が狭く大型車両の通行ができないことの4点です。 6年間は校庭がなく、3年11カ月間は体育館もない状況となります。教育環境の観点から、校庭と体育館のどちらかが使える状況で工事を進めていく必要があり、志村小の現地改築は困難であるという結論になりました。
SC30	志村四中	志村小敷地のうち、熊野神社からの借地部分はどうなるのか。	小中一貫型学校の建設後、志村小の校舎は解体します。敷地のうち区有地は、小中一貫型学校の運営や防災物資の保管倉庫など地域活動を補填できる整備を行う考えです。学校としての使用が終えることから、借地部分については、熊野神社に返すこととなります。
SC31	志村四中	志村四中の既存プールは新しいので、プールは残して校舎だけ改築した方が、校舎が低層化して良いのではないかと。使えるものを解体するのに税金をかけるのか。	プールの築年数はそれほど経っていないものではありません。校庭などの屋外活動スペースを広くという要望を地域などいろいろな方からいただいているため、プールを上階に配置し、屋外活動スペースを広く確保する計画しました。解体にもお金はかかるが、新しい学校の運用を考えると、校舎の中につくる方が良いと考え、決定しました。
SC32	志村四中	施設一体型の小中一貫校にすることで、発達段階の幅が大きくなり、教育的な影響、安全面での支障がでるのではないかと心配している。校	前任校が義務教育学校だったが、発達段階に応じたユニバーサルデザインや、階段を学年によって分けて運用するなどの工夫で支障はなかったと考えています。7階建ての校舎は初めてのため、エレベーターの運用

NO	会場	内容	回答
		長先生の意見を聞きたい。	方法などについては今後考えなければならないことであると感じています。 地域の方に支えていただく学校にしなければならないと感じています。地域の方の心配な部分には答えていかなければいけないと思いました。何かの形で説明ができればいいと思っていますが、設計が具体的に進み、形がみえてこないと話ができないと考えています。現段階では安心していただける材料がないかもしれないですが、出来上がる校舎はそういうところがしっかり配慮できているものになると考えていただきたいです。
SC33	志村四中	狭い敷地に施設一体型の小中一貫型学校を設置することで、校舎が高層化し、近隣への日照などに影響があり、近隣から反対意見が出ている。それでもこのまま計画を進めるのか。反対意見は教育長に伝わっているのか。もう一度考え直すべきだ。	いただいた意見はしっかりと受け止め、多くの方の賛同を得らえるようにしていかなければならないと考えています。今までの協議会、検討会も含め、様々な方とともに積み上げた議論を踏まえて決定している計画のため、考え直すことは考えていません。
SC34	志村四中	説明会は今後も実施するのか。もっと説明が必要なのではないか。	現時点で決まっている説明会は6/18である。基本構想・基本計画についての説明会は、6/18が最後となります。
SC35	志村四中	教室数の規模算定について、小学校の算定方法は中学校と同じ教科教室型で算定されているのか。	小学校部分の規模算定は、他の小学校と同じく特別教室型で算定しています。中学校と同じ教科教室型で算定しているわけではありません。
SC36	志村四中	生徒はエレベーターを利用しない、エスカレーターの設置がない計画で、毎日7階まで通うのは大変であり、不登校が増えるのではないのか。	生徒の負担軽減を考え、エレベーターの運用方法は今後検討します。
SC37	志村四中	小中一貫教育は子どもにとって本当に良いものなのか。	国の調査で、小中一貫教育の効果が報告されています。 効果として、生徒、児童の思いやりや助け合いの気持ちが育まれた、上

NO	会場	内容	回答
			級生が下級生の手本となろうとする意識が高まった、下級生が上級生への憧れを持つようになった、中学校への進学に不安を感じる児童が減少した、中1ギャップが解消された、という項目に対して9割以上の市区町村から回答がありました。他自治体の事例より、小中一貫校の効果が見られています。
SC38	志村四中	志村小の環境は良く、児童数も増えている状況なのに、なぜ志村四中の敷地に一体型の施設として整備されるのか。職員室が小中で1つになることで、子どもたちが気軽に先生と関わる環境ではなくなるのではないか。先生と子どもたちの距離が遠くなるのではないか。 別々の学校として、改築するべきなのではないか。	PTA や地域の代表である町会長なども含めた協議会で議論してこの計画を考えてきました。志村小の現地建替えは、6年間の工事での子どもたちへ影響が大きく困難であるという結論となりました。 職員室を1つすることで小中の連携を図ることを考えています。配置の工夫などにより、児童、生徒が教員と関わりやすい環境を整備することを考えています。
SC39	志村四中	説明会の意見は広報するのか。	説明会の記録はホームページでの公開を考えています。
SC40	志村四中	説明会には責任者である教育長が参加してほしい。地域の声を直接聞いてほしい。	責任者は区立学校の設置者である板橋区ですが、板橋区教育委員会事務局が所管となっているため、我々が責任を持って対応していきます。説明会での意見は、教育委員会で共有していきます。
SC41	志村四中	保護者や地域住民に計画の賛否についてアンケートをとってほしい。	学校、地域の様々な方が協議会、検討会で議論し、積み上げてきた計画であることから、この計画を進めます。
SC42	志村四中	今回の計画は協議会からの提案なのか。教育委員会が先に方針を決めていたものではないのか。	協議会は令和元年度にスタートし、志村小の現地改築から検討しており、施設一体型の小中一貫型学校の整備ありきで始まったわけではありません。協議会の中で、志村小の現地改築が困難であるため、同じく改築が必要な志村四中との小中一貫型学校として整備する旨の提案書をいただいたものである。
SC43	志村四中	志村小の現地改築の工事期間を短くする案として、仮設校舎の代替敷地の検討は十分にしたの	所有地である北前野小の敷地を仮設校舎敷地として利用することを検討しましたが、東京都から活用は不可との回答がありました。

NO	会場	内容	回答
		か。北前野小に近接している公有地を借りる交渉を行ったのか。	
SC44	志村四中	計画は既に決定しているもので、説明会は決定内容の報告なのか。住民の意見によって、計画を撤回することはあるのか。	説明会は様々な意見を聞くために実施しており、意見をもとに修正すべき点は修正する考えています。子どもにとってより良い教育環境を整備していくために説明会を実施しています。反対意見もいただきましたが、地域や学校など様々な角度から時間をかけて十分に検討してきた計画であることから、撤回は考えていません。
G1	カレッジ	校舎を敷地中央に配置する配置計画は、近隣住民から反対されているが、このまま進めていくのか。周辺住民に説明会開催のチラシを配付しないのはおかしい。一度立ち止まって、騒音や日影などの影響について周辺住民に丁寧に説明していただきたい。このままでは、周辺住民にとって迷惑施設になってしまう。	現時点で考えられる最善の策だと考えており、現在考えている配置計画にて進めさせていただきます。説明会の周知や、説明について、今後も、今までの以上に丁寧やっていきたいと考えていますので、引き続きご意見をいただきたいと思います。
G2	カレッジ	説明会は実施するが、区民の意見を聞かないで計画を進めていくのが区のやり方なのか。	区の考え方を示し、皆様から要望やどのような配慮が必要かなどの意見を伺い、対応を考え、進めていく考えです。
G3	カレッジ	みんなの意見を聞いたら、計画を一度凍結して、利用者にこのまま進めるかどうかを聞くべきである。志村小の保護者であるが、昨年実施したアンケートについては知らない。	3年前から説明をし、意見を聞いた上で、教育委員会にて決定しすすめていることなので、計画の凍結はしません。これからも皆様の意見を伺い、アンケートについては、学びのエリア内の全小学校の児童、生徒へ送信しており、約32%の回答をいただいているので全く届いていなかったということはないと考えています。何らかの不手際があり届いていなかったのであれば申し訳ありません。
G4	カレッジ	32.1%の回収率でアンケートとして十分と考えているのか。 ワークショップ・ヒアリングの参加人数を示して頂きたい。	区としてもなるべく多くの回答をいただきたいと思います。締切りを延ばすや再周知、学校へ呼びかけのお願いなども行いました。いつまでも回答を待っているわけにはいかないため、32.1%の段階で集計をさせていただいた次第です。

NO	会場	内容	回答
		教室の一人あたりの面積は広がっているのか、教室で車椅子が座席間に入っていくことが可能か確認したい。	ワークショップについては、志村小・志四中の設置検討委員の方、約 20 名に参加いただきました。ヒアリングについては、対象となる学年の児童・生徒やご都合のついた先生方にご参加いただきました。 教室の一人あたりの面積については、8×8mから8×9mと大きくし、また 35 人学級の考えから 1 学級の数も減っていることから、教室の一人あたりの面積は大きくなっています。 車椅子につきましては、車椅子の動線については入口だけでなく座席間も通行できるよう机の配置なども考え対応していくものだと考えています。
G5	カレッジ	働き方が違う小学校の先生と中学校の先生が一つの職員室を使用することで、不公平感が生まれるのではないかと。また働き方改革への対応として何か考えていることがあればお伺いしたい。	それぞれの職務に基づいて働いているので、極端な不公正感はないと考えています。また、一つの職員室となることで小中学校の先生方が、協力・連携できるのではと考えています。先生方がリフレッシュできる休憩スペースを設置したり、地域の方の参加により部活動の顧問としての負担軽減を図っています。板十小の試みとして先生用の個人ロッカーを整備し情報漏洩の防止を図ったり、職員室のフリーアドレス化も実施しています。
G6	カレッジ	児童へのヒアリングの際、小中一貫について説明がなかった。アンケートについてもお知らせされた記憶がない。生徒児童にも説明してほしい。	ヒアリングについては、学校と調整をはかり、授業時間内でできることなどの条件から新しい校舎への思いを聞くことに主眼を置いた内容となりました。アンケートについては、緊急メールを使って保護者へ送っています。より良い周知方法があれば改善していきます。
G7	カレッジ	アンケートについて、娘・家内に確認したが記憶にないと言っていた。質問の内容も一貫校に通わせたいか等、抽象的で不十分である。また、近隣の幼稚園等にも行っているのか。白紙に戻して意見を聞くべきである。	志村小は築 59 年となり改築が必要となり、令和元年に地域・学校・PTA の代表者からなる協議会を全 8 回行い検討し、その内容を協議会ニュースで周知しています。志村四中に関わる 5 つの小学校・15 の近隣幼稚園保育園等約 4500 名の関係者に配布しています。また約 1700 名の町内会の方々に回覧し、児童館等 6 か所の施設にて周知へのご協力をいただいています。今後も周知方法については検討していきます。

NO	会場	内容	回答
G8	カレッジ	<p>アンケート結果にて、十分な広さの校庭を確保とあるが、区内中学校の1人当たりの校庭面積の平均が約33㎡・小学校が約22㎡に対し今回計画が14㎡であり確保できていないのではないか。</p> <p>また、グループワークなど様々な学習に対応とあるが、発達障害がある児童生徒は変化が苦手であり、教科教室型に対応できるのか。</p> <p>7階建ての場合、避難時に縦の移動が多くなるが大丈夫なのか。</p> <p>浸水時エレベーターが止まった場合避難所として機能するのか。</p> <p>志村小・志村四中の児童生徒数が減少していないが、35人学級となりクラス数が足りなくなることはないか。足立区の小中一貫型学校では、第二校舎を建てたということも聞いている。</p> <p>志村小の敷地を熊野神社に返すのではなく、区で買い取ってもいいのではないか。</p>	<p>南北に2か所の屋外活動スペースと体育館2か所を設置し、運動施設を最大限に確保した案と考えています。</p> <p>グループ学習については、板十小などではオープンスペースを設置し、オープンスペースを活用したグループワークを実施しています。今回の計画でもグループワークにつながる空間を確保していきたいと考えています。</p> <p>避難については、横移動に配慮するとともに、防火区画を形成して安全に避難できるよう消防と十分協議し、安全に避難できる計画としていきます。35人学級に対応したクラス数の影響も含めて校舎配置や規模検討を行っています。足立区の事例については、新田地区で平成22年度に建設されたが、その後約2800戸以上のファミリーマンションの建設があり、32学級に増加したと聞いています。今回の計画では、このような大規模マンションの建設がなければ、学級数への対応についての問題はないと考えています。熊野神社からの借地については、学校としての機能を終了するため、返却することとなっています。</p> <p>※以下は、「発達障害がある児童生徒は、教科教室型に対応できるのか。」という意見についての後日追記による回答です。</p> <p>教科教室型の設えとなるのは中学校のみであり、変化への対応が苦手な生徒が、学校生活での困りごとが増えない様、教科教室型の運用方法や注意点について、既に実施している赤二中、中台中、上二中での事例を踏まえて運営に生かしていく考えであります。</p>
G9	カレッジ	<p>小学生に7階建ての校舎はいらぬ。伝統校である志村小を残してほしい。</p> <p>PTAや町内会の代表の意見だけでなく、一般の人に意見を聞かなければならない。計画を止めてアンケートを作り直し、全員に取り直すべ</p>	<p>志村小の改築に関する整備手法については、PTA・学校・地域の代表者の意見を受けて令和2年度に協議会で決定しています。協議会・検討会で多くの意見を聞いており、区議会に報告させていただいているため、今回の計画の見直しは考えていません。この計画を進めていく上でのどのような配慮が必要かなどの意見を伺っていきます。</p>

NO	会場	内容	回答
		<p>きである。</p>	<p>志村小の現地改築が困難である最も大きな理由は、工事が6年かかるという点です。その原因は、4点あり、擁壁の作り替えが必要であること、既存校舎を一部使いながらの段階整備になること、接道が1か所のみで児童の安全確保のため工事車両の寸法制限がかかること、周辺道路が狭く大型車両の通行ができないことの4点です。</p> <p>6年間は校庭がなく、3年11カ月間は体育館もない状況になります。教育環境の観点から、校庭と体育館のどちらかが使える状況で工事を進めていく必要がありました。</p> <p>また公有地である北前野小近くの敷地を仮設校舎敷地として利用することを検討しましたが、4～5年間の利用となるため東京都としては敷地を貸せないとの回答がありました。志村四中にて志村小の仮設校舎を建設した場合、校庭が使えなくなり志村四中としてのデメリットが多く、仮設校舎用地としては使えません。これらの検討結果より志村小の現地改築が困難となり、同じく改築が必要な志村四中との施設一体型の小中一貫型学校の計画を進めています。志村小の跡地利用の計画も検討を進めています。</p>
G10	カレッジ	<p>施設一体型の小中一貫型学校に反対である。施設一体型の小中一貫型学校を進めるのであれば、改築校舎は中央配置でなく北側配置としてほしい。7階まで児童が移動できるのか、校舎から近隣住宅がまる見えになるのではないかと、校舎の日影に当たらないかなど不安が多い。教育環境を配慮して配置が決定しているようだが、利用者にとっては、数年の工事の話で、自分たちにとっては50年と続く問題である。私はアンケートを見ていないし、答えてもいな</p>	<p>近隣住民の方々には丁寧に説明した上での意見をいただき、意見に対して配慮し、計画を進めていきたいと考えています。確かに、7階建てということには、不安があると思いますが、今考えているゾーニングとしては、小学校は低層階に利用する室を配置する予定であり、プールへの移動については、移動に負担がないような運用となるようエレベーターの使用なども考えながら学校と協議していきます。また視線や日影の問題については、一定の検討を進めている状況ではありますが、今後も設計を進めていく中で、丁寧に説明していく考えています。</p>

NO	会場	内容	回答
		い。本当に影響の受ける人の意見を聞いてほしい。	
G11	カレッジ	小中一貫校であれば別棟でもよいのではないか。現在の志村小敷地に小学部、志村四中敷地に中学部として、敷地が離れてもよいのではないか。その際に、志四中の敷地に小学部建設のための仮校舎を建てる計画ではだろうか。	志四中の敷地に志村小の仮設校舎を建てた場合、志村四中の校庭に志村小の仮設校舎3年間、志村四中の仮設校舎3年間を建てることとなります。結果、校庭が6年間使えなくなるだけでなり、志村小志村四中の卒業を両方とも仮設校舎で行う児童生徒が出るため教育環境として問題があるという意見があり、このような手法での改築は難しいと判断しました。
G12	カレッジ	志村小の現地改築について、複数の施工業者にヒアリングしているか。プールへの移動にエレベーターを使うことに問題はないのか。小中学校一つの職員室で小学生が入りづらくなることがないか検討したか。エレベーターを使用した移動や職員室を一つにしている学校へヒアリングなどをして具体的に検証を行っているのか。	志村小の現地改築の検討については、複数社の中から技術力のある業者に決定しています。その業者に、短い期間ですむ場合や安全を重視した場合など様々なパターンにて検討していただきました。様々なパターンでの検討結果より、今回の手法としており、決して今回の手法ありきで検討してきたわけではありません。 エレベーター利用について、9階建ての港区立芝浜小学校では、低層階に教室などを配置し、屋上にある運動施設に移動する際には、先生と一緒にエレベーターに乗っているとの話を聞いています。また、杉並区立高円寺学園を視察した際に、色々と声を聴かせていただいています。その中で職員室を一つにしていることに関しては、最初とまどいはあったが、時間が経つにつれて、小中教職員の連携がしやすく、職員室の雰囲気もよくなってきたと伺っています。雰囲気がよくなることで小学生も入りづらくなるということはないのではないかと考えています。このように他の学校での状況なども参考にしながら、検討を進めています。
G13	カレッジ	北前野小近くの公有地を借りることに、消防庁に対して粘り強く交渉をしたのか。すぐに断念したのではないか。数年間、現地では、状況が変わっていないが消防庁の施設を建設す	北前野小近くの公有地を借りるものの交渉はしっかりと行いました。仮設校舎の建設、利用、解体を考えると4~5年間の利用となるため東京都としては敷地を貸せないとの回答がありました。北前野小には東京消防庁から施設建設の計画について説明をしたいとの連絡が入っていると

NO	会場	内容	回答
		る計画は進んでいるのか。	聞いています。
G14	カレッジ	志村四中の校庭で志村小の仮設校舎として3年間使用し、そのまま志村四中の仮設校舎として3年間使用すれば、仮設校舎建設のコストがかからないのではないかと。仮設校舎は6年間の問題であるが、近隣住民にとっては一生の問題である。	6年間の仮設校舎での生活は子どもたちにとって厳しいと判断しました。現在の計画については、丁寧な説明をした上で、皆様から要望やどのような配慮が必要かなどのご意見を伺い、対応を考え、進めていく考えでいます。
G15	カレッジ	江東区では廃校した校舎をリフォームし、新校舎建設期間中の校舎として利用しており、スクールバスにて、通学している。高七小を志村小の新校舎建設期間中の校舎として利用できないか。	高島平のまちづくりで活用するとの方向性がでているため利用はできません。また江東区には、バス通学について視察とヒアリングをしています。その中で、道幅の広い江東区ではバス通学が実現したが、板橋区では難しいのではないかと、江東区の担当者から意見をいただきます。実際バス通学を運用するには、停留所やバスが通行する道路を確保するのが、難しいと感じています。
G16	カレッジ	プールに行くのにエレベーターを使えるのか。7階の教室に中学生が毎日階段で上がるのか。	エレベーターの利用については、設計を進めていく中で学校と協議を行いたいと考えています。6階までが教室の設置階となるのではないかと考えています。中学校は4階建てが主流なので、プラス2階については、エレベーターを活用することを考えていますが、学校と協議しながら決めていきたいです。また高円寺学園は6階まで階段で上がっていますが、生徒や保護者からの不満はないと聞いています。
G17	カレッジ	自宅や職場が6階にあって、エレベーターを使わないという人はいないと思う。自分はこれまでのそのような経験は一度もない。だからどこかに無理のある計画なのだろうと思う。常識はずれの計画だと思う。	※意見のため、回答は無し。
G18	カレッジ	七階建ての校舎で学ぶ意義は何でしょうか。志村小移転により通学距離が長くなった子どもへ	志村小が今の場所にあるということが志村小の誇りであるということは、検討当初からも色々と聞いています。

NO	会場	内容	回答
		<p>の対応はどのように考えているのか。屋上のプールへの移動について、エレベーターの利用は当初の説明会ではなかったと思う。志村小をなくす計画は進めないでほしい。施設一体型の小中一貫校型学校の次の計画はないと聞いているが、それならもっとしっかりとした計画とするために一貫校型学校を実施する場所を考え直してほしい。敷地面積が狭すぎるこれでは、他区に対して恥ずかしいです。</p>	<p>区としても志村小をなくしたいということではなく、色々な検討をしていく中で今回の計画となって進んでいます。子どもたちのこと考えた上で、現地改築は難しく今回の計画としていることを理解いただきたいと思います。</p> <p>志村第一小に近い学区の子どもたちの通学距離が長くなることに対して、敷地東側にアプローチを設けて通学距離を短くすることを検討しています。今後、小中一貫型学校とする次の学校は未定です。改築検討時に小中一貫化の視点を持って検討する方針としています。今後、小中一貫型学校を整備していくかについては、現在検討しており、魅力ある学校づくりプランの令和8年度からの後期計画における整備計画の中でお示しできるよう検討を進めているところです。</p>
G19	カレッジ	<p>この説明会で色々なアイデアを追求し、志村小をなくさない方法を考えてほしい。</p>	<p>改築手法や改築中の教育環境・安全な工事手法を踏まえて現地改築でなく、志村小と志四中の施設一体型の小中一貫型学校として整備する計画としており、今後もこの計画にて進めていきます。</p>
G20	カレッジ	<p>意思決定のプロセスを教えてください。どうなったら計画を立ち戻するのか、誰が決定するのか教えてください。</p>	<p>志村小学校の改築が俎上にあがった経緯は、平成26年度に策定した「いたばし魅力ある学校づくりプラン」の整備対象校としてあげられたことです。令和元年度に協議会が発足し、協議を重ね、令和2年11月に協議会での意見を集約した意見書が教育委員会に提出されました。この意見書も踏まえ令和2年度11月に施設一体型の小中一貫型学校として整備することを教育委員会にて決定し、令和3年1月に議会報告をしている。</p>
G21	カレッジ	<p>意思決定のプロセスが見えない。協議会のメンバーを選んだのが誰か教えてください。区議会にかけた議事録を見たい。本日の説明内容が決まったものであれば説明会を行う必要があるのか。説明会の意見を受けて再度アンケートを行</p>	<p>協議会メンバーは教育委員会で決定しています。学校・PTA・町内会等を代表した方を選出しています。区議会の議事録は令和3年1月21日文教児童委員会のホームページで公開されています。</p> <p>現在の計画については、丁寧な説明をした上で、皆様から要望やどのような配慮が必要かなどのご意見を伺い、対応を考え、進めていく考えで</p>

NO	会場	内容	回答
		ってほしい。	す。計画を白紙に戻すかのアンケートは実施しません。
G22	カレッジ	計画の決定権限のある教育長・教育委員に説明していただかないと意味がない。教育長や教育委員が出席した説明会を実施してほしい。	教育員会事務局が責任をもって説明し、対応させていただきます。教育長には、本日の説明会での意見は報告します。また説明会でのご意見に対する回答は区のホームページで公開します。
G23	カレッジ	協議会の正当性に疑問がある。町会長は町会の意見を聞いて望んでいるのか。	協議会のメンバーは強い責任感を持って参加して頂いています。
G24	カレッジ	教育長の返事はいつ頂けるのか。教育長が参加する説明会を開いていただきたい。	すぐに教育長に報告し、対応方法および回答方法を含め検討します。 ※後日追記 教育長出席の説明会開催については、実施を考えていません。教育長の見解・方針は教育委員会事務局の説明・回答・意見と同じ考えであるため、実施はしません。
1	意見書	志村小は創立以来、長い歴史があり、地域、卒業生等の思いは非常に強く、大きいものがあると思う。志村四中に移った後も、何かしらの形で残してほしいと思います。	志村小学校は、小中一貫型学校としての整備後も、志村小学校として残ります。また伝統や歴史を残す方法については、検討中で、記念樹の移植や歴史を残すコーナーの設置を考えています。
2	意見書	すでに決定しており、説明会にて何を言っても同じ答えがかえってくるようでは、民主主義ではないと思います。志村小は、現地での評判もよいので、何とか現地に残した方がよい。もう一度、計画を一からやり直して、教育長参加の説明会を行うべきだ。	説明会は様々な意見を聞くために実施しており、意見をもとに修正すべき点は修正する考えです。子どもにとってより良い教育環境を整備していくために説明会を実施しています。反対意見もいただきましたが、地域や学校など様々な角度から時間をかけて十分に検討してきた結果として志四中校地での小中一貫型学校を計画しているため、やり直すことは考えていません。また教育長もこれまでの説明内容や決定事項について、同様の考えを持っており、教育長参加の説明会を行う予定はありません。
3	意見書	志村小学校・志村第四中学校の小中一貫型学校については、このまま、区側の意向のみで進めるのではなく、一旦、立ち止まって、近隣住民	現時点で考えられる最善の策だと考えており、現在考えている配置計画にて進めてさせていただきます。説明会の周知や、説明について、今後も、今まで以上に丁寧に行っていきたいと考えていますので、引き続き

NO	会場	内容	回答
		<p>や学校関係者、在校生、一般区民等多くの意見をよく聴いて検討すべきです。</p> <p>特に配置計画のA～C案については、騒音や振動、プライバシーの問題、日光の反射、ビル風、校庭の砂埃など近隣住民の生活を脅かす諸問題について、それぞれ影響を評価し、説明を行ったうえで検討してください。地域やPTA、学校の代表で決めたので、このままの案で進めるといった、住民・区民の意見を聴こうとしない板橋区・教育委員会のやり方には決定プロセスについても疑問があり、この計画案については、現時点では反対です。</p>	<p>ご意見をいただきたいと思います。</p>
4	意見書	<p>志村小の地主は熊野神社と聞いたが、神社は変換を希望しているのか。</p>	<p>志村小が志四中敷地に移るため、熊野神社からお借りしている志村小の敷地部分については、学校としての機能を終了するため、返却することとなります。</p>
5	意見書	<p>説明会の中で神社に返還と言っていたが第二運動場として利用するのではないのか。</p>	<p>志村小敷地は、区所有部分と借地部分があり、区所有部分については、第二グラウンドとしての利用を考えています。</p>
6	意見書	<p>建て替え長期化の理由として擁壁工事があがっているが、建物自体の建て替えには擁壁工事は関係ない。（建て替えスケジュールを見ました）ならば校庭整備は時期をあらためてする、または校庭はそのままの選択もあると思うがそれができない理由は何か。</p>	<p>擁壁については、以前の調査での形状評価において基準不適合となっており、改築に伴い、やり変える必要があります。また建物の配置や形状によって、擁壁に負荷を与える場合があるため、擁壁工事は校舎改築に大きく関係している。</p> <p>建設工事によって、校庭は使用できない状態になります。また校庭の位置が工事前後にて全く同じということはないので、建設工事後には、校庭整備が必要になります。よって校庭整備をあらためて行うことや校庭をそのままにするということとはできないと考えています。</p>

NO	会場	内容	回答
7	意見書	そもそも志村小単体での建て替えコスト、一貫校建設コストが不明。幾らかかるかわからなくて計画を進めるといことがあり得るのか。	過去の改築校の建設費や、積算単価などをもとに概算費としては算出しており、一定のコストを把握しながら進めています。
8	意見書	志村小建て替えについての見積もりを複数の業者に出したというが何社でどこか。	志村小の現地改築の検討については、建築・土木設計両方に対応できる技術力があることを条件に事業者を公募し、複数社の中から競争入札をにより、1社に委託しています。また委託業者は、株式会社アサノ大成基礎エンジニアリングです。
9	意見書	志村小単体建て替えはいくらかかるのか、一貫校建て替えはいくらかかるのか明示願いたい。	物価率の変動にて大きくかわることから、現在の志村小単体建替えの工事費はわかりません。参考までに近年区内で建設した学校の建設費は、板橋第十小学校で約40億強、上板橋第二中学校で約50億強です。また一貫型学校の建設費については、今後の設計にて、入札による工事業者選定もあるため、お答えすることはできません。
10	意見書	北前野小隣接の公有地は建て替え仮校舎用地に利用できないとのことだが、志村坂上駅近くのトーハツ跡地や志村二小近くの凸版印刷の敷地等は貸してもらえないものか。	仮校舎の代替地として借用する場合、建設から解体まで含めると4、5年程度期間が必要です。代替地となる広い土地にて4、5年もの間、民間事業での使用ではなく、区に借用させることの交渉は難しいと考えています。また学校改築工事において、社会情勢の影響を受け遅延が生じた結果、借用期間延長が必要となった場合に、対応いただけないことも考えられます。以上のように公有地を、代替地とするには課題が多いため、公共用地が仮校舎の代替地の候補と考え、検討を進めてきました。
11	意見書	そもそも小中一貫校のメリットに中1ギャップがあると聞くが北前野小や坂下小卒業生にはメリットはない。これについて教育委員会の見解を伺いたい。	志村小以外の小学校から志四中へいく児童の中1ギャップの防止につながる小中連携など交流できる空間を一貫型学校に設置していく考えです。
12	意見書	スケジュール管理が分かり辛い。工事期間、工程を線表にするだけでなく、現在の志村小N学年（平成：：年度生まれ）が、	スケジュールについては、設計段階の中で具体的なことがわかってくるので、その際には、お伝えさせていただきたいと考えています。

NO	会場	内容	回答
		何年生の時にどこの校舎に通うのか。これを明示して欲しい。	
13	意見書	仮設校舎の運用について全く説明がない。早急に工事期間中の学校運営について発表を。	今回の新校舎は、既存校舎と重ならない配置となるため、仮設校舎の建設はありません。志四中の敷地では、既存校舎での学校運営と新校舎建設工事が行われます。
14	意見書	一体型でなければならない根拠が明確でない。	志村小の改築検討をしていく中で、現地での改築は、工事期間が長くなるなど課題が多いことがわかりました。また志四中についても老朽化が進んでいることや、小中一貫教育の視点を取り入れた結果、施設一体型の小中一貫型学校を整備していくこととなりました。一体型でなければならないということではなく、志村小の改築、教育環境、小中一貫教育の推進ということを考えた結果、最善の整備手法であると判断し、施設一体型の小中一貫型学校を整備することとしました。
15	意見書	アンケートの内容も回収率も不十分、それを元にするのは誠意がない。	アンケートの内容は、難しかったり、複雑なものであれば、回答率が低くなると考え、シンプルでわかりやすいものとししました。また色々な意見をいただけるように、自由意見欄も設けています。 回収率については、区としてもなるべく多くの回答をいただきたいと考え、締切りを延ばすことや再周知、学校へ呼びかけのお願いなども行い、できる限り多く回収できるよう努めましたが、結果、32%でした。
16	意見書	配布資料に6階7階建ての記載は58ページに初めて記載されている。そこまでは2階以上の表現でいきなり感が強い。	報告書案では、IからIII章までは、条件整理の部分であり、方針についての記載は、IV章以降で示しています。配置計画比較にあたって条件整理の内容を反映したものがIV章以降であり、58ページの資料としてまとめたものです。
17	意見書	志村小はアンケートにもあったが歴史があり災害に強い場所に建ており、学校づくりの基本方針や整備方針にぴったり合致している。	志村小学校は、水害に強い場所であるということは、認識しています。当初は、志村小敷地での単独改築から検討をしており、その結果、様々な経過を経て、現在の計画となったことをご理解いただければと思います。

NO	会場	内容	回答
18	意見書	志村小の東側から通う児童は通学距離が延びてリスクが高まる。出入口を東側に設置して解決しない。	学校の設置場所が変わるので、通学距離が延びるのをさけることはできませんが、少しでも通学の負担やリスクを軽減できるよう、東側からアプローチできることを方針として定めています。
19	意見書	説明会の予定時間を延長して意見を聞いて頂いたのは評価するが、答えにならない何も答えてない対応もあり残念だった。	より多くの方が、納得いただける対応ができるように、努めていきます。
20	意見書	引き続き一体型一貫校問題は話し合う必要があります。子ども第一に考え本当に住みたくなる街になるよう立ち止まって住民と行政が知恵を出し合う話し合いを求めます。	説明会にて、様々な意見をいただいておりますが、この計画は、子どもにとってより良い教育環境を整備していくため、地域や学校など様々な角度から時間をかけて十分に検討してきており、立ち止まることは考えていません。皆様からいただいた意見については、事業を進めていく中で対応策を考え、出来る限り不安などをなくせるように対応していきたいと考えております。
21	意見書	中学校の工事期間中の部活動、体育授業プールはどうするのでしょうか。近隣施設、学校の協力…となっているようですが、具体的な話が全く見えません。仮に1時間の授業枠でこういった対応されるのか。運動部全てで活動場所を確保できるのか。	<p>現段階では、近接する学校や公共施設等との連携については検討中であるため、具体的なことは決まっていない状況です。結論が出次第、早急にお伝えしたいと考えております。</p> <p>連携する移動先によっては、1時間の授業枠での対応は難しい場合もあると考えており、その場合は2時間枠にするなど、学校等と協議しながら、検討していきます。運動部全てで屋外での活動場所を確保できるかはわかりませんが、体育館やマルチスペースなど屋内での運動場所をうまく活用しながら、活動が停止しないよう、学校等と協議しながら、検討していきます。</p>
22	意見書	工事期間中、給食はどうなるのか。	現校舎を残しながら、新校舎の建設工事を行うため、これまで通りの給食が提供できると考えています。
23	意見書	新校舎、7階建、エレベーター1台のみの設計案。こちらに関して、エスカレーターの設定も検討してください。	新校舎にて、エレベーターの設置は行いますが、設置台数は、現段階では決まっていません。エスカレーターの設定は、考えていませんが、エレベーターの設置台数については、設計を進めていく中で検討していき

NO	会場	内容	回答
			ます。
24	意見書	<p>志村小学校の改築について、工事手法に限界があることから、志村四中と小中一貫とすることを志向した、と理解してきました。しかしながら、改めてけんとう当初からの資料を確認したところ、令和元年11月に実施された、「魅力ある学校づくり協議会（志村小）」第1回目の議論からすでに志村小学校を現在の場所に残したまま、改築する案は検討されておらず、一貫校とすることありきの議論となっているように感じました。学校施設について志村小学校と志村第四中学校を統合する議論と、学びのエリアでの小中一貫教育推進の議論と、本来は、分けて議論すべきものが混同されたまま、議論が進められているかのように思います。また構成員も専門家などがほぼふくまれていないと感じました。志村小と志村第四中の小中一貫教育推進をするうえで、必ずしも同一敷地内とする必要はないと思います。</p>	<p>※感想のため、回答無し。</p>
25	意見書	<p>志村小学校と志村第四中を志村第四中の敷地内で統合することにしたのはなぜか。「工事が比較的容易にできること」と「児童生徒を狭い敷地押し込めること」を優先させた明確な理由を提示してください。</p>	<p>志村小の改築検討をしていく中で、現地での改築は、工事期間などの課題が多くあることがわかってきました。また志四中についても老朽化が進んでいることや、小中一貫教育の視点を取り入れた結果、施設一体型の小中一貫型学校を整備していくこととなりました。「工事が比較的容易にできること」と「児童生徒を狭い敷地押し込めること」を優先したわけではなく、志村小の改築、教育環境、小中一貫教育の推進ということ考えた結果、最善の整備手法であると判断し、施設一体型の小中一</p>

NO	会場	内容	回答
			貫型学校の整備をすることとしました。なお、改築後の延床面積は現状よりも増えるため一概に狭いとは考えていません。
26	意見書	志村小学校と志村第四中を志村第四中の敷地内で統合することはいつ誰が決定したのか。	令和2年7月に「魅力ある学校づくり協議会（志村小・志村四中）が発足し、協議を重ね、令和2年11月に協議会から施設一体型の小中一貫型学校として整備する方向で協議を進めていくこととする意見書が教育委員会に提出されました。令和2年11月に教育委員会は、この意見書を尊重しながら進めていくことを決定し、令和3年1月に議会報告をしています。
27	意見書	敷地が狭いことで、小学1年生と中学3年生が過ごすには、校庭、校舎とも危険が多いように思えます。どのように安全を確保される予定ですか。	屋外活動スペースについては、北側に校庭、南側に広場を設けることで、活動場所をわけ、危険の回避を考えています。また校舎については、動線や配置をわけることや、バリアフリー、ユニバーサルデザインを意識した計画とすることで対応を考えています。設計の中で具体化していくこととなります。あわせて、利用時間をわけるなどソフト面での対応策も、学校と協議しながら検討していきます。
28	意見書	中学生は1Fから教室まで等、移動距離がとて多くなると理解していますが、休み時間が移動のみに費やされるなども心配しています。 （全生徒が利用できるような設備を整える、あるいは運営をすることは可能なのでしょうか。）	低層階に小学校、高層階に中学校とわけたゾーニングをすることで、縦方向の移動距離が長くないように設計していきます。また屋上設置を考えているプールへの移動については、エレベーターの使用も含め、学校と協議していきます。
29	意見書	放課後等のあいキッズの校庭利用と中学校の部活での利用はバッティングしないのでしょうか。	屋外活動スペースについては、北側に校庭、南側に広場を設けることで、活動場所をわけることで危険の回避を考えています。あわせて、利用時間をわけるなどソフト面での対応策も、学校と協議しながら検討していきます。
30	意見書	建築資材等の高騰や、人員が手配できないことによる工事の長期化なども問題になっているよ	スケジュールは、新型コロナウイルス感染状況の影響や社会情勢によって、変わる可能性は十分あると考えます。計画の見直しについては、地

NO	会場	内容	回答
		うに、議論を開始した令和元年の想定通りとはならないのではないかと考えております。計画の見直し、予算の見直しなどが必要ではないでしょうか。	域や学校など様々な角度から時間をかけて十分に検討してきた計画であることから、見直しは考えていません。予算の見直しについては、必要に応じて、内部にて協議をし、見直す場合はあると考えます。
31	意見書	アンケートの回答で一番多く選ばれた「(2)十分な広さが確保された校庭や体育館などの運動設備」について、今回の基本構想・基本計画でどう答えますか。	今回の基本構想・基本計画では、配置計画を示しています。その中で、敷地中央に校舎を配置し、北側に校庭、南側に広場と2つの屋外活動スペースを設置する考えを示しています。また体育館に関しても2カ所設置を考えており、今後の設計にて、配置や形状など具体化していくこととなります。限られた条件の中ではあるが、運動設備の充実を一つの重要な要素として設計を進めていきます。
32	意見書	施設を計画通り作る仕事が、今の教育委員会の課題だと思いますが、できた後の運用で生まれる問題など、建て替え前に予想されることについても十分に検討しているでしょうか。	児童、生徒、教員などの学校関係者や地域の方など学校を利用する方から、様々な意見を伺っており、基本構想・基本計画にて、今後、設計や工事など改築事業を進めていく上での計画目標や課題として記載しています。また設計が進んで、図面化など具体的にいった際には、学校利用者などから意見を伺い、運用上の問題を少しでも減らし、運用にあった施設となるよう努めていきます。
33	意見書	志村小跡地に、第二グラウンドをつくと検討会で話し合われていましたが、第二グラウンドへの移動にかかる時間、往復の安全確保、第二グラウンドでの安全確保など児童生徒の負担と教職員の負担を考えると、大変活用しにくい施設になると思います。その点について、どのようにお考えでしょうか。	第二グラウンドについては、主に中学生の利用を想定しています。移動時間も含め、部活動や体育の授業等において活用できるものと考えており、学校ともすでに相談している。

NO	会場	内容	回答
34	意見書	板橋区の災害に対する基本方針として、志村小学校は防災拠点として、なくても良いと考えているのでしょうか。	志村小学校を含む、今回の小中一貫型学校は、避難所として指定され、現在の志村小学校の避難所指定は解除されます。しかし、志村小学校跡地に防災機能を残したいという声が地域からあるため、防災物資の保管倉庫などの整備を行う考えです。
35	意見書	小中一貫校であれば別棟でもよいのではないかと。志村小の敷地に小学部を改築する際に、志四中の敷地に小学部建設のための仮校舎を建て、そのあとその仮校舎を中学部の改築の際に使用できる。	志四中の敷地に志村小の仮設校舎を建てた場合、志村四中の校庭に志村小の仮設校舎3年間、志村四中の仮設校舎3年間を建てることとなります。結果、校庭が6年間使えなくなるだけでなり、志村小志村四中の卒業を両方とも仮設校舎で行う児童生徒が出るため教育環境として問題があるという意見があり、このような手法での改築は難しいと判断しました。
36	意見書	北前野小近くの公有地を再度、志村小学校の仮校舎として、借用できないか強力で交渉してください。	北前野小近くの公有地を借りることを東京都に行った際、敷地は貸せないとの回答がありました。東京都消防庁の訓練場が整備される計画があり、設計の事業者が決まり、事業が進んでいるとの認識であるため、再度交渉を行うことはしない考えです。
37	意見書	創価学会の会館跡地が、志村小学校の近くにあるので、借用できるよう創価学会に交渉してください。	仮校舎の代替地として借用する場合、建設から解体まで含めると4、5年程度期間が必要です。代替地となる広い土地にて4、5年もの間、民間事業での使用ではなく、区に借用させることの交渉は難しいと考えています。また学校改築工事において、社会情勢の影響を受け遅延が生じた結果、借用期間延長が必要となった場合に、対応いただけないことも考えられます。公有地を、代替地とするには課題が多いため、公共用地が仮校舎の代替地の候補と考え、検討を進めてきました。